

## 平成 23 年度 事業報告(平成 23 年 11 月～平成 24 年 3 月)

### 1. 文字・活字文化振興に関する事業

#### 1) 読書基盤づくり事業

##### ① 印刷文化・電子文化の基盤整備に関する勉強会

2月24日に衆議院第一議員会館において、中川正春議員を座長に、作家、出版界関係者、国会議員に出席いただき勉強会を開催。以降、月に1回会議を開催している。

##### ② 子どもの読書活動と人材育成に関する調査に係る研究会

#### 2) 読書・体験活動事業

##### ① 心あたためよう、朗読とコンサートのつどい

11月5日、秋田県横手市の秋田ふるさと村で、東日本大震災の被災者も含めて約1000名を招待して開催。

真野響子さん、眞野あずささん姉妹の朗読劇、由紀さおりさん、安田祥子さん姉妹の童謡コンサートを行いました。



##### ② フォーラム「絵本・物語とことばの世界」

11月19日、東大阪市の大阪樟蔭女子大学で柳田邦男さん、あきびんごさんを迎えてのパネルディスカッションを開催。

12月18日、福岡市 博多阪急ミュージックホールでよしながこうたくさん、よしととひうたさんによる、読み聞かせと紙芝居ライブを行いました。

両会場合計で400名が来場しました。



③ 絵本・日本プロジェクト

読育と食育のコラボレーションイベント「よむよむ・もぐもぐ広場」の2回目を12月3日に福岡市のエルガーラホールで、3回目を3月20日に仙台市のアエルで開催。両会場で計1800名の親子が参加しました。



3) 言語力向上の支援活動

**言語力検定**

小学生から社会人まで4,338人が受検しました。

「3・4級」3,594人受検

(3級合格1,109人／4級合格1,431人)

「5・6級」599人受検

(5級合格者163人／6級合格者287人)

「2級」145人受検

(合格者41人)

## 2. 人材育成・能力開発事業

言語活動・読書推進のリーダーの育成事業

**シンポジウム「問われる成人力～国際競争を勝ち抜く」**

12月2日、千代田区大手町の日経ホールで開催。作家の浅田次郎さん、文化庁長官の近藤誠一さん、三井物産の雑賀大介さんが登壇。八塩圭子さんの進行で、思考力や問題解決能力などを総合した成人力を伸ばす教育、国際社会でその力を生かす方法について活発な議論を展開しました。参加者は約500名。

## 3. 情報提供、広報活動に関する事業

1) 活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知

ホームページにて、フォーラム・シンポジウムの案内や募集、活動報告などを告知。

2) 国立国会図書館書誌データの普及

### 3) 読書環境整備フォーラム

#### ① シンポジウム「手を伸ばせば、そこに本がある」

12月11日、山口県山陽小野田市 山口東京理科大学の講堂で開催。衆議院議員の河村建夫さん、作家のあさのあつこさんらを迎え「学校図書館の活性化を考える」をテーマにパネル討論を行いました。参加者は約300人。



#### ② シンポジウム「知の地域づくりを考える」

1月23日、東京・千代田区の憲政記念館で開催、約300人が参加しました。前総務大臣の片山善博さんが冒頭、「知的立国をめざすうえで、図書館の役割は大きい」と力説しました。続いて、荒川区長の西川太一郎さんたちも加わり、平成24年度から始動する学校司書の配置や第4次学校図書館図書整備5か年計画など国の施策と自治体の対応について話し合いました。



#### ③ フォーラム「活字に魅せられて」

2月11日、さいたま市の市民会館おおみやで、東北大学教授の川島隆太さんやTAC社長の斎藤博明さんなどを招いて開催しました。川島さんが、読書の効用とともに、東日本大震災の被災者が活字に飢えていることも紹介、「本の力」について熱く語り合いました。参加者は約200人。

